

科目名	刑事訴訟法	科目分類	専門 選択
		開講年次	3 (法職2年)
(ふりがな)	なか むら ゆう いち	開講期間	通 年
氏 名	中 村 雄 一	単 位 数	4
<b>授業概要</b> <p>刑事訴訟法は、犯罪と刑罰を定めた刑法を現実の犯罪事件に適用する手続を定めた法である。刑法がどんなに適正なものであって、罪刑法定主義が厳格に守られても、刑法を実際に適用する刑事手続が誤った判断を導きやすいものであったり、不当な人権侵害を許すものであれば、刑法の理念・原則はまさに「絵に描いた餅」にもなりかねない。刑事訴訟法の使命は、不当な人権侵害を排除しつつ、しかもなお真実を発見することである。この点を念頭におきつつ、刑事手続の流れにそって、刑事訴訟の理念および全体像を説明する。</p>			
授業方針と留意点	<p>刑事訴訟法は、捜査と公判に大きく分けられるが、捜査の分野に重点をおいて話をすすめたい。テキスト、六法は必ず持ってくること。</p>		
授業計画	前 期	後 期	
第1回 刑事訴訟法の意義と目的 〔キーワード〕 当事者 / 適正手続主義		第16回 起訴状 〔キーワード〕 公訴事実 / 訴因 / 起訴状一本主義	
第2回 刑事手続の流れ 〔キーワード〕 捜査 / 公判		第17回 裁判所の管轄と構成 〔キーワード〕 事物管轄 / 土地管轄 / 裁判官の除斥	
第3回 訴訟の主体(1)被疑者・被告人 〔キーワード〕 当事者能力 / 訴訟能力		第18回 公判準備 〔キーワード〕 証拠開示 / 召喚 / 保釈	
第4回 訴訟の主体(2)警察官・検察官 〔キーワード〕 司法警察職員 / 検察官一体の原則		第19回 公判期日(1) 〔キーワード〕 公開主義 / 口頭主義 / 直接主義	
第5回 訴訟の主体(3)弁護士・裁判官 〔キーワード〕 弁護士 / 国選弁護士 / 裁判官の身分保障		第20回 公判期日(2) 〔キーワード〕 迅速な裁判の保障 / 訴訟指揮権	
第6回 捜査の主体 〔キーワード〕 司法警察職員 / 検察官 / 検察事務官		第21回 主張と立証(1) 〔キーワード〕 人定質問 / 罪状認否 / 簡易公判手続	
第7回 捜査の端緒 〔キーワード〕 職務質問 / 告訴 / 告発		第22回 主張と立証(2) 〔キーワード〕 証拠決定 / 交互尋問方式 / 誘導尋問	
第8回 捜査の原理 〔キーワード〕 任意捜査の原則 / 令状主義 / 強制処分法定主義		第23回 訴因の変更 〔キーワード〕 公訴事実の単一性 / 公訴事実の同一性	
第9回 捜査の方法(1)任意捜査と強制捜査 〔キーワード〕 おとり捜査 / 捜索 / 差押		第24回 証拠による認定 〔キーワード〕 証拠裁判主義 / 厳格な証明 / 自由な証明	
第10回 捜査の方法(2)参考人・証人・被疑者 〔キーワード〕 自白強要 / 黙秘権 / 接見交通権		第25回 証拠の資格(1) 〔キーワード〕 自然的関連性 / 法律性関連性	
第11回 捜査の方法(3)逮捕 〔キーワード〕 通常逮捕 / 現行犯逮捕 / 緊急逮捕		第26回 証拠の資格(2) 〔キーワード〕 伝聞証拠 / 伝聞法則	
第12回 捜査の方法(4)勾留 〔キーワード〕 逮捕前置主義 / 代用監獄		第27回 証拠の資格(3) 〔キーワード〕 自白法則	
第13回 被疑者の防御・捜査の終結 〔キーワード〕 包括的防御権 / 弁護士依頼権		第28回 証拠の資格(4) 〔キーワード〕 違法収集証拠排除法則	
第14回 起訴・不起訴 〔キーワード〕 公訴時効 / 起訴猶予 / 公訴権濫用論		第29回 証拠の評価 〔キーワード〕 自由心証主義	
第15回 前期試験 〔キーワード〕		第30回 後期試験 〔キーワード〕	
テキスト	上口裕ほか有斐閣Sシリーズ『刑事訴訟法(第4版)』 有斐閣 2005年		
参考文献	(1) 『刑事訴訟法判例百選(第8版)』 有斐閣 2005年 (2) 『刑事訴訟法の争点(第3版)』 有斐閣 2001年 (3) 白取祐司『刑事訴訟法(第3版)』 日本評論社 2004年		
評価方法	前期試験 / 後期試験 / 出席率		